

遠野

市議会だより | NO. 8
2007.7.19



まこやが・さんぽ

岩滝保育園

小友の名所、巖流神社を背に、緑あふれる山々と清流に囲まれた岩滝保育園は42名の園児が通っています。

「心身ともに健康で、強い意思と実行力のある子どもたち」を目標に、友だちと仲良く、元気いっぱい遊んでいる年長児8名、年中児12名の子どもたちです。

(菊池京子園長)

主な内容

6月定例会

- 指定管理者決定
- 一般質問は6名

6月定例会

平成19年第2回定例会を6月8日から15日までの8日間開催しました。

今定例会では、一般質問には6人の議員が登壇し、遠野のまちづくり・農林業の振興・環境・中学校再編等多岐にわたり質疑が行われました。

提案された専決処分3件、条例4件、その他2件、予算1件、全10議案を原案のとおり承認・可決しました。

また、最終日には請願5件を採決、議員発議による意見書6件を可決しました。

議案

- 遠野市市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成18年度遠野市一般会計補正予算(第4号)の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成19年度遠野市老人保健特別会計補正予算(第1号)の専決処分に関し承認を求めることについて
- 遠野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市民センター条例及び遠野市かしわざいだいら交流施設条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 平成19年度遠野市一般会計補正予算(第1号)



▲今議会では6人の議員が一般質問を行った

消費者や観光客を吸い込むまちづくり



菊池 民彌 議員

【質問】 遠野まちなか賑わいプロジェクトチームの検討成果は。

【市長】 本年3月報告書をまとめた。その中で、高齢者に住み良く、観光客に魅力あるまちの両方が成り立つまちづくりを目指すとしている。その柱として、駅前再開発、田の字型ネットワークの観光整備、町家文化を活用した施設整備等を図る。

【質問】 中心市街地活性化基本計画の内容は。

【市長】 商工会、遠野テレビ、建築士会の協力の下、これまでのまちづくりのノウハウを活かし、計画策定に取り組んでいる。

【質問】 基本計画の認定を受ける諸条件とメリットは。

【市長】 一定の人口規模を有する都市のみ認定を受けることが出来ると聞いている。今年度中の認定を目指して取り組む。メリットは、集中的、効果的に財政的支援がある。

【その他の質問】 農業振興について。市営住宅の建設について。

かしわざいだいら交流施設の管理運営



菊池 充 議員

【質問】 指定管理者の候補者の選定、2つの第三セクターの経営改革、今後のスケジュール、施設の利用計画について示されたい。

【市長】 指定管理者には、2社から応募があり審査の結果、柏木平レイクリゾート(株)が候補者に選定された。2つの第三セクターのうち(株)宮守プロイハウスは、民間経営のもと

で地ビール醸造に特化し経営の継続を図る。また、上猿ヶ石川観光(株)は、通常株主総会において会社を解散する方向で承諾されたところである。今後のスケジュールは、指定管理業務の円滑な実施、プロイハウスの経営移譲、市民に向けた改革内容の周知、プロイハウスのレストラン部分の早期開業の交渉を重点的に進める。施設の利用計画は、レストランを遠野ビール苑としビールとジンギスカンをメインに来年4月グランドオープンを考えている。他の施設は基本的に従来どおり利用していくが、やな食堂は廃止し、やな場と炭焼き施設は関係団体及び地元の協力を得て有効活用を図る。

☒ 書整備費の予算確保を!



石橋 達八 議員

【質問】 特区制度が平成 23 年度まで延長された。更なる地域活性化が必要である。特に、市民の中からのチャレンジが求められる。

【市長】 今、国では頑張る地域には応援してくれる姿勢を示している。市としては特区だけに限らず地域活性化政策(特区、地域再生、都市再生、中心市街地活性化)を踏まえ

魅力ある地域づくりに向けて取り組んでいく。

【質問】 更なる学校図書館図書整備費の確保を求める。

【教育長】 年度内に増額補正を行い、学校図書館図書の整備充実に努める。

【質問】 団塊の世代の人たちが退職期を迎える。優れた知識や技術を持った意欲ある人材を、教育の分野で再活用して頂くため「教育サポート制度」が創設される。市内は元より都会からの誘導を図るための準備を整えるべきである。

【教育長】 制度が実施される運びとなった場合には、積極的に地域の人材を活用し、学校教育の充実を図る。

☒ EPA・FTA農業交渉反対



小松 大成 議員

【質問】 現在政府は豪州とのEPA交渉を開始している。次に来る米国との交渉などが妥協するようなことになれば国内の食料自給率は、農水省試算でも12%台に激減するとの報告がある。農業は遠野地方の重要産業であり、これ以上の自給率低下は地域崩壊を招く。遠野市としてもEPA交渉反対の声を上げるべきと思うが。

【市長】 岩手県市長会、東北市長会、全国市長会でEPA交渉反対の特別決議を行い、現在要望活動をしている。

【質問】 クレジット、サラ金などの多重債務問題が近年特に社会問題化してきている。多重債務被害者の実態把握をしているか。被害者に対する支援対策の強化を求める。

【市長】 市では「弁護士無料法律相談」にて対応している。専門家にお任せすることで確実かつ的確な問題解決で救済している。

【その他の質問】 教育再生会議報告に対する教育長の見解はどのようなものか。

綾織小学校改築と中学校再編成について



照井 文雄 議員

【質問】 これから家を建てる人や植林ボランティアをした人に地元木材をプレゼントしてはどうか。地球温暖化防止や伝統技能の伝承につながるのではないか。

【市長】 人材育成の支援や市営住宅整備にも技能の伝承につながるように取り組んでいく。

【質問】 中学校再編成検討委員会が設置され、前段階の市民懇談会等で十分な意見の集約が出来たか。中学校再編に伴い空き校舎を利用する話が出ている。綾織町民は小学校改築を望んでいるが。

【教育長】 中学校再編成については更に議論し、学校や地域の協力のもと、安心して伸び伸びと意欲を持つ教育環境をつくる。綾織小学校は平成19年度に基本設計、23年度に供用開始予定であったが、中学校再編で空き校舎になった場合は「学びのプラットホーム」構想と合わせ、将来反省点を残さないようにしたい。改築しないということではない。

【その他の質問】 観光客の誘客について

夢のある農村確立を



新田 勝見 議員

【質問】 「永遠の日本のふるさと」を目指すためには、様々な課題が山積している。私は夢のある農業・農村の確立なくして「永遠の日本のふるさと」はないと思う。市長の考えている農業・農村地域の理想とビジョンは何か。

【市長】 市総合計画と「ASTチャレンジ100」により着実に進めている。

【質問】 農業専従者所得が1人当たり80万円程度である。今こそ、農業所得の向上と担い手の本格的な育成が必要であると思う。遠野の農業の将来について危惧されるが。

【市長】 ASTを中心として試行・チャレンジし、検証・反応等の確認をしながら進めている。その積み重ねの中から、担い手や若者等を農業・集落に定着するよう誘導し、夢のある地域になるよう着実に実行していく。

【質問】 修学旅行等のファームステイが増えている。水洗トイレ等の環境整備が必要と思うが。

【市長】 特別に優先枠を決めて実施することも検討する。

【その他の質問】 で・くらす遠野について。「ごみポイ捨て禁止条例」について。

予算等審査特別委員会 6月13日~14日

予算等審査特別委員会(議長を除く21人の議員で構成、委員長萩野茂男議員、副委員長織笠孝之議員)は専決処分3件、条例4件、その他2件、予算1件の議案について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今委員会では市税条例、市民センター・かしわぎだいら交流施設条例の一部改正とその指定管理者の指定等について活発な質疑が交わされました。その結果、全10議案が原案のとおり承認・可決されました。



▲委員会では活発な審議が行われた

期待されるかしわぎだいら交流施設

市民センター関連施設の指定管理とは

【質問】 指定管理者の予定者と、その効果は。

【答弁】 審査の結果、「(株)遠野施設管理サービス」が候補者として選定された。市民センター関連施設の一体管理と利用料金制の導入を図り収入を上げ、経費の削減効果を期待する。

【質問】 具体的な経費削減効果は。

【答弁】 人件費が3年平均で1億1千6百万円かかっていたが、約1千万円の削減効果は期待できる。

【質問】 民間管理会社に管理委託することによって、公共サービスの質の低下を招かないか。

【答弁】 指定管理会社とは協定を結び、施設毎に管理仕様書を作成し、民間のノウハウを導入することにより、公共サービスの向上が従前にも増して図られると思う。月1回の定期と随時に業者と協議会を開くこととし、利用者である市民の代表も加えることを検討している。

かしわぎだいら交流施設の管理について

【質問】 応募が2社あった中で、柏木平レイクリゾート(株)に決定した理由は何か。

【答弁】 一方の会社は、販売中心で数年をかけて買収するという形である。柏木平レイクリゾート(株)は、短期間に株式譲渡を受けという考え方で、経営に関与する度合いが強いということで選定になった。

【質問】 ビールの販売について努力してきたと思うが、今までとどこが違うのか。また、ジンギスカンを活用するところがあるが、目新しいものではないと思うが。

【答弁】 指定管理者が提示している販売方法はなかった。遠野名物ジンギスカンハウスとして、ビールと共に提供する。

【質問】 全体売り上げ目標は。

【答弁】 5年計画を立てている。平成20年度は、5,390万円となっている。

【質問】 ブロイハウスを含めた指定管理者の指定は、今までの赤字累積が続き、補助金や増資が続くことで現在と同じことになる。行政がビール事業から完全に撤退するか、完全に譲渡をしない限りその責任を負うことになり、経営が行き詰まると、補助金支出の要件が残ってしまうのでは。

【答弁】 レイクリゾート(株)は、今後市に対して支援を求めることはない。そして、80%以上の株を取得することになっている。

【質問】 20%の株所有では、監査請求も出来なくなるのでは。

【答弁】 確かに25%以下になれば監査義務はなくなるが、今後、議会に対して報告はする。

【質問】 株を20%残すことは経営責任を負うことになるのでは。

【答弁】 これ以上の財政支援はしない。



▲指定管理者制度が導入されるふるさと交流館

年金にかかる問題
について

【質問】年金の納付記録について、遠野市の場合、国管理となるまでのデータを現在も保存・保管しているのか。

【答弁】平成14年度以降は国が行うこととなった。しかし、当市ではそれまでの年金納付記録データはすべて保存している。

【質問】今回の問題が発覚してから、市の窓口にはどれくらいの相談件数があったのか。

【答弁】直接社会保険事務所に相談していると思うが、市の窓口への相談はないと承知している。

【質問】市民の皆さんの不安解消の点から、市としても市民に対して納付記録の再確認をするよう、指導等強化すべきではないか。

【答弁】花巻社会保険事務所からも協力を求められており、市としての窓口相談の強化や周知を徹底したい。

綾織小学校の改築
について

【質問】平成18年度で、綾織小学校の改築基本計画予算が執行されず、一気に中学校再編の話が出てきた。まだ、中学校再編の計画や方向性も決定していないのに、なぜ小学校が中学校に移転する話が出るのか。中学校再編と小学校改築は別の話ではないのか。また、住民参加型の要望や今後の日程についての説明を再三要求したが、無回答である。基本計画、設計の策定に着手する時期はいつなのか。

【答弁】現在中学校の再編を検討しているが、生徒が減少する中で、小中学校全体の利活用や学校跡地のあり方が、当初の考えの変更の事情を早く地域やPTAに説明すべきだったと反省している。学校の活用にあたっては問題点や反省点も出てくるので、検討しながら今後はきちんとした対応をしていきたい。

総務常任委員会行政視察報告



▲「まちづくり基本条例」について研修したニセコ町

6月26、27、28日と北海道ニセコ町と歌志内市を視察した。ニセコ町は、全国で最初に「まちづくり基本条例」を制定。「情報共有」と「住民参加」をまちづくりの二大原則として町政の推進を図っている。その結果、昨年内閣府が行ったアンケートでは、町民の約6割が「最近10年間で町が元気になった」と回答し、まちづくり基本条例の認知度は8割に上る。ここ数年の人口動態を見ても微増、地価も大幅に上昇しているという。

歌志内市の人口は、昭和23年の4万6千をピークに減少を続け、現在はその十分の一になろうとしている。この人口の激減は、当然財政を大きく圧迫し、近隣の自治体同様破綻の危機にある。このような状況の中、市では、「財政健全化を大前提として、赤字再建団体への転落を回避する。」という基本目標を掲げ、平成18年度から6年間で財政健全化計画期間として、現在行財政を根底から見直ししながら計画を推進中であった。

(浅沼幸雄副委員長)

議員談話室

12・3・6月議会と第三セクターのあり方が議論されたが、

確かな解決策が見出された訳ではない。経営破綻に直面している原因、責任、処理の方法が市民の前に明瞭になったか。対症療法的な内部改革ではなく、自治体の行政とは何か、住民の税金はどう使われるべきか、公共性・公益性の基準に照らした原点の問い直しが求められる。

国は歳入縮小の傾向を増税の動きに転ずるだろう。議会は政策論争の場であり、「政策について責任を負う議会、行政の責任を追及する議会」でなければならない。首長の提案する政策に賛否を唱えるだけでなく、地域運営の政策を行政・議会が共有すること。議会行為に共同の責任が市民に問われる。

(荻野桂一議員)

市政調査会研修報告

遠野市政調査会では、5月31日に奥州市議会市政調査会主催による早稲田大学大学院教授(前三重県知事)北川正泰氏講演「地方分権と議会改革～議会基本条例の考え方～」を聴講し、県南広域振興局管内の市町議会議員の方々と、今後の議会のあるべき姿について意見を交わしながら研修をしてきました。

講師のお話の中に、夕張市の財政破綻は議会にも責任があるという指摘がありましたが、これから議会の果たす役割と責任は益々重大となります。

今後とも市のため市民のためという意識を持ち、行政と良い意味での緊張関係を保ちながら、市政発展に向けて活動を深めていきたいと思えます。

(菊池邦夫会長)

請願審査報告

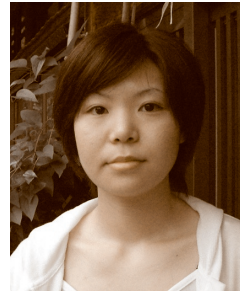
今定例会には5件の請願が提出されました。
各委員会における審査及び本会議における議決結果は以下のとおりでした。

- 乳幼児医療費無料制度の創設を求める請願
〔請願者 新日本婦人の会遠野支部事務局長 奥寺モト子〕
審議結果 採択
- 日豪、日米などFTA・EPA 促進路線の転換と、自給率向上にむけた施策の強化を求める請願
〔請願者 遠野市農民組合 代表者 阿部喜一〕
審議結果 採択
- アメリカ産牛肉の輸入条件の緩和に反対し、国内での全頭検査を維持する予算措置の継続を求める請願
〔請願者 遠野市農民組合 代表者 阿部喜一〕
審議結果 採択
- 義務教育費国庫負担制度の堅持及び国負担率の2分の1への復元、教育予算の拡充を求める請願
〔請願者 岩手県教職員組合遠野支部支部長 佐々木信也〕
審議結果 採択
- 学級再編基準・教職員の定数の改善、専任司書教諭の配置を求める請願
〔請願者 岩手県教職員組合遠野支部支部長 佐々木信也〕
審議結果 採択

議員発議案

今定例会には、6件の発議案が提出され、原案のとおり可決しました。可決した意見書は以下のとおり。

- 乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書
- 日豪、日米などFTA・EPA 促進路線の転換と、食料自給率を向上させるための施策の強化を求める意見書
- アメリカ産牛肉の輸入条件の緩和に反対し、国内での全頭検査を維持する予算措置の継続を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度の堅持及び国負担率の2分の1への復元、教育予算の拡充を求める意見書
- 学級再編基準・教職員の定数の改善、専任司書教諭の配置を求める意見書
- 岩手県後期高齢医療広域連合規約の改正を求める意見書



わたしの ひとこと

いつまでも自然に
恵まれた遠野で

及川いず美さん（小友町）

ここ遠野は、豊かな自然がたくさん広がる町です。そんな景色を眺めるのが私は好きです。特に新緑を見ると、それまでよんでいた気分をフレッシュな気持ちにしてくれるような気がします。

実際に緑は、私達が毎日の生活の中から排出する二酸化炭素を、新鮮な酸素にかえてくれる役割を果たします。そんな自然の偉大なる力も、今や、その力だけでは補えなくなっています。

私達が過ごす上で、便利になること、住みよい町になることには大賛成ですが、それと同時に、自然に対しても優しくすることを考えていかなければならないと思います。いつまでも自然に恵まれた遠野でいる為に、身近な、できることから、その自然に負担をかけない生活を心がけていきたいです。

新会派結成される

6月14日新しい会派が結成され、その届出がなされました。新会派は次のとおりです。

- ・とおの会議 4名（○は会長）
- 佐々木 熙 萩野 茂男 伊藤 庄吉 瀧澤 征幸

9月定例会の予定

- ◆定例会は9月13日(木)開会の予定です。
- 議会へのご意見、ご要望をお待ちしております。
- 議会事務局62-2111(内線271)
- gikai@city.tono.iwate.jp

編集後記

6月定例会も無事？終了した。今議会の目玉はなんと言っても「公の施設の指定管理者の指定について」であった。この案件については、まだ取り組み始めたばかりということもあり、特にかかなりの時間を割き、そしていろいろな角度から検証を行ったが、議会側も100%納得しての可決ではなかったと感じた。まだまだこれからも調査・研究を継続しなければならないと考える。北海道夕張市の一件以来（それ以前からかもしれないが）行政に対しての議会の果たすチェック機能が、声を大にして叫ばれるようになったような気がしている。我が議会も、指定管理者のみならず他の案件についても、議会閉会中も含め常に目を光らせ、チェックを怠らず、その結果を「議会だより」等を通じて市民の皆様へ伝えていかなければと思う。（浅沼）